



柳島 T 邸

歴史ある建造物の実測調査

今年度のメイン事業として、茅ヶ崎市内にある 2 軒の歴史ある建造物の実測調査を大学の研究室と共同で行い、資料にまとめました。

1 T 邸 (柳島)

昭和7年建設・木造平屋
設計：西村伊作 (文化学院創設者)

2010年9月3日
関東学院大学人間環境学部
人間環境デザイン学科 水沼研究室による調査を行う

<調査余滴>

T邸は茅ヶ崎の由緒ある家柄です。住宅の調査と言えば、目前にある建物の調査をすれば済むと思ったら大間違い。実はその「家」の歴史そのものと向き合う作業でもあります。この調査は茅ヶ崎出身の学生が中心となって進めてくれました。御当主の暖かい励ましのなか、彼女はたくさんの新たな地元の魅力を再発見してくれたようです。これこそ住宅調査の醍醐味なのではないでしょうか。(水沼淑子)



T 邸



M 邸長屋門

2 M 邸長屋門 (高田)

明治33年建設・木造平屋

2011年2月16日
東海大学工学部建築学科 小沢研究室による調査を行う



M 邸長屋門

◎文化景観セミナーの開催

茅ヶ崎の歴史ある建造物の保存と活用の仕組みの構築を目指し、「茅ヶ崎の文化景観を育む会」と茅ヶ崎市は2008年度より協働推進事業を実施しております。今年度は歴史ある建造物の保存、活用への理解を深めるため、市民や建造物の所有者の方を対象として、「歴史ある建造物の保存と活用」をテーマとしたセミナーを企画しました。



第1回 文化景観セミナー

2010年7月31日(土)多くの地方自治体で歴史ある建造物保全制度に関わられている河東義之先生(小山高専名誉教授、工学博士)をお招きし、「歴史ある建造物とまちづくり」をテーマとしたお話をさせていただきました。

第2回 文化景観セミナー

2011年1月29日(土)茅ヶ崎館と同じく国登録有形文化財の住宅にお住まいの村川夏子さんと角田博之さんに「国登録有形文化財に住まう」をテーマとしたお話をさせていただきました。

第3回 文化景観セミナー

2011年3月27日(日)茅ヶ崎市内に現存する歴史ある建造物を調査した水沼淑子先生と小沢朝江先生をお招きして、「茅ヶ崎の歴史ある建造物」をテーマとした調査報告会を開催する予定としてましたが、3/11に発生した東日本大震災の影響を考慮して、順延となり8月7日(日)に開催延期となりました。



◎その他の活動

2010年10月15日川上音二郎・川上貞奴を顕彰する会を立ち上げに際し、茅ヶ崎市・茅ヶ崎市文化振興財団とともに、中心的に動きました。また、美術展の関連イベントをいくつも立ち上げました。関連イベントについては下記HPを照くください。

【川上音二郎・貞奴を顕彰する会】

<http://www.chi-bunkei.net/otosada/>

茅ヶ崎の文化景観を育む会「友の会」・入会ご案内

茅ヶ崎は明治以降東海道線の開通や海水浴の流行等を背景に東京近郊の保養地、別荘地として発展してきました。

今日では、茅ヶ崎は東京・横浜からの通勤圏にあり、その温暖な気候と海・里山等の豊かな自然環境や文化的イメージから居住を望む人が多くなりました。しかし、古くからの土地は宅地開発され、保養地・別荘地としての茅ヶ崎の原風景が失われつつある状況にあります。我々は、未だまちに点在する別荘建築・文化遺産をとおして茅ヶ崎の原風景を少しでも生き残らせ、快適な都市環境を形成し、茅ヶ崎市民がシティライフを楽しめる魅力あるまちづくりを目指しています。

具体的活動としては、茅ヶ崎の歴史的、文化的価値があると認められる建造物や場所に対し、それらが地域の文化や環境に与える影響などを考察、検証し、その活性化と保存方法とそれらの建造物や場所の所有者への相談システムの構築等を研究、実践していきます。

この度、「茅ヶ崎の文化景観を育む会」では、このような活動に興味があり、ご賛同いただける個人会員を募集いたします。

◆ ご入会についてのお問い合わせは事務局までお願いいたします。

「茅ヶ崎の文化景観を育む会」事務局(担当:森・和泉)

〒253-0055 茅ヶ崎市中海岸3-8-5

TEL・FAX: 0467-98-1630

e-mail: info@chigasakikan.co.jp

発行: 茅ヶ崎市

連絡先: 茅ヶ崎の文化景観を育む会事務局

TEL・FAX: 0467-98-1630

E-MAIL: info@chi-bunkei.net

HP: <http://www.chi-bunkei.net/>